

# SiTCP MPC Writer XG ユーザガイド



2024年7月12日 0.1.1版  
株式会社Bee Beans Technologies

## 改版履歴

版数	日付	内容	担当
0.1	2024年7月12日	初版	和田
0.1.1	2024年7月12日	表現の修正。SiTCP/mpc の記述を削減。	和田

## 内容

1. 概要	3
1.1. 入手方法	3
2. 起動と終了	4
2.1. 起動	4
2.2. 終了	4
3. 操作方法	5
3.1. MPCX ファイル	5
3.2. MPCX ファイルと書き込み対象デバイスの確認	5
3.3. MPCX ファイルの書き込み	5
3.4. MPCX ファイル情報の消去	6

## 1. 概要

本書は SiTCP XG のインタフェースライセンス購入時に配布される MPCX ファイルを書き込むツール SiTCP MPC Writer XG の説明書です。

MPCX ファイルは SiTCP XG のグローバル MAC アドレスとライセンス情報を含むファイルです。本ファイルを EEPROM に書き込むことで、SiTCP XG インタフェースに正規のグローバル MAC アドレス（※）を割り当てることができます。

※評価版およびデフォルトモード時にはローカル MAC アドレスを使用しています。

### 1.1. 入手方法

(株)Bee Beans Technologies のサポートホームページからダウンロードしてご利用ください。  
Windows 10, Windows11 に対応しています。

<https://www.bbtech.co.jp/download-files/sitcp/index.html>

## 2. 起動と終了

### 2.1. 起動

ダウンロードした zip ファイルを適切な場所に解凍し、SiTcpMpcWriteXG.exe をダブルクリックします。

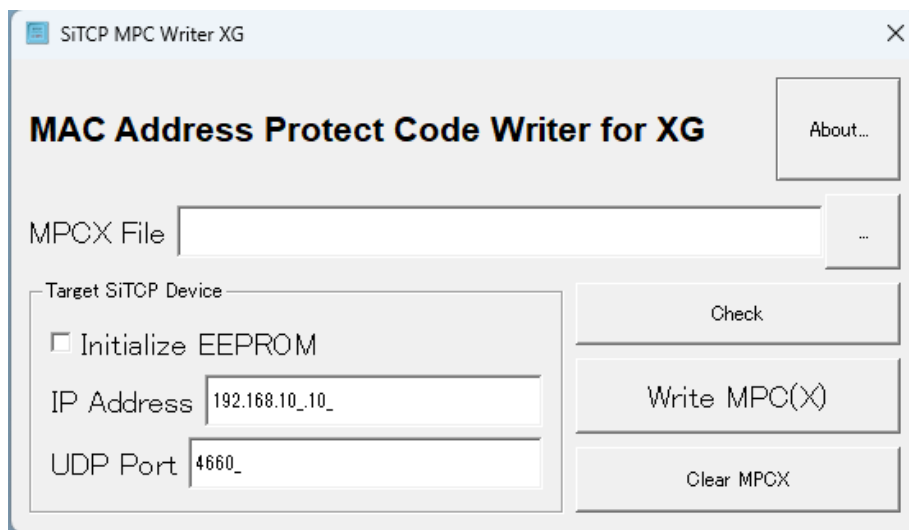


図 2-1. 起動画面 (Windows10)

### 2.2. 終了

アプリケーションを終了する場合はウィンドウ右上の×ボタンで終了してください。

## 3. 操作方法

### 3.1. MPCX ファイル

MPCX ファイルは SiTCP XG 用の MPC ファイルです。従来の SiTCP (100/1000G のイーサネットに対応) 用の MPC ファイルと MPCX ファイルはライセンスが異なるため、対応するデバイス以外にはご利用になれません。SiTCP MPC Writer XG は書き込み対象の SiTCP 種別を識別するため対応しないライセンスを書き込もうとした場合はエラーメッセージが表示されます。※SiTCP MPC Writer XG で MPC ファイルを従来の SiTCP デバイスに書き込むこともできますが、本書では MPCX ファイルとして説明します。

### 3.2. MPCX ファイルと書き込み対象デバイスの確認

MPCX File を選択して、Target SiTCP Device の IP アドレス、UDP Port を設定してから Check ボタンを押下すると、IP Address/UDP Port で指定されたデバイスと、MPCX File で指定された MPCX ファイルの互換性を確認します。書き込みは行いません。

### 3.3. MPCX ファイルの書き込み

[Write MPC(X)] ボタンを押下すると、指定された MPCX ファイルと対象デバイスの確認を行った後、更新確認メッセージが表示されます。OK ボタンを押下すると書き込みを行います。SiTCP デバイスの初期化状態に応じて、表 3-1. 初期化メッセージのメッセージが表示される場合があります。

表 3-1. 初期化メッセージ

項目	メッセージ	説明
1	Initialized EEPROM by using current RAM setting.	RAM 設定が読み出せた場合に現在の設定を利用して EEPROM を初期化します。
2	Initialize EEPROM by using default values (can't read RAM)	RAM 設定が読み出しできない場合に、プログラム内のデフォルト情報で EEPROM を初期化します。

書き込みに成功した場合は Succeeded in Updating the SiTCP module(<デバイス IP アドレス>:<デバイスポート番号>) with <MPCX ファイルパス>と表示されます。

正常に書き込んだあとに、SiTCP デバイスを通常モードで再起動すると、7C:F0:98 から始まるグローバル MAC アドレスが割り当てられます。

### 3.4. MPCX ファイル情報の消去

MPCX ファイル情報を一旦消去する場合や書き込みに失敗した場合は、[Clear MPCX] ボタンで MPCX 情報をクリアできます。 MPCX 情報クリア後にはデフォルトモード (192.168.10.10 固定で起動するモード) でないと起動できなくなりますのでご注意ください。



MPCX ファイルを書き込んでいない複数の SiTCP デバイスを同一 LAN セグメントに接続することはできません。



書き込みに失敗して、デバイスが起動しなくなった場合は、デフォルトモードで起動して MPCX ファイル情報の消去を行った後、再度 MPCX ファイルの書き込みをお試してください。

以上